

令和5年度学校経営方針

1 教育目標

『自立と貢献 ～自ら進んで取り組む児童の育成～』

今、小学校で学ぶ子供たちは、私たち大人が経験したことのない、予測が困難な時代を生きていかなければなりません。また、この時代は、一定の知識のみを身に付けていけば対応できる時代でもありません。この時代を、子供たちは社会の一員として自立し、貢献していく存在になります。これらの現状から、子供たちは、新たな道を自ら切り拓く力とともに自ら進んで変化を生み出す力が求められます。そこで、令和5年度、鹿骨小学校では、『自立と貢献』を教育目標に設定し、子供たち一人一人が「自ら進んで取り組む」ことにより、確かな学力、健やかな身体、豊かな心を確実に身に付けられるよう教育活動、学校運営を展開し、中学校への円滑な引継を目指していきます。

2 教育目標の達成に向けた基本方針

- 「学力保障」を果たす学校づくりを進めます
- 自立し貢献する児童を育成します
- 組織人として共通実践し、指導責任を果たす教職員を育成します

3 具体的な取組

(1)「学力保障」を果たす学校づくり（学習指導）

①自ら進んで学ぶ態度を育みます

- ・主体的に学習に取り組む態度を育てるために、授業の内容、指導の方法を工夫・充実させます。
- ・一人一人の児童の実態を踏まえ、興味・関心や学ぶ意欲を高める指導を充実するために、ブロック学年による協業体制のもと、全学年による一部教科担任制、算数での習熟度別学習、ICT機器の効果的な活用などを進めます。

②基礎・基本の確実な定着をめざします

- ・自ら進んで学ぶ姿勢やねばり強く取り組む態度を育むために、日々の授業の中で、基礎・基本を定着させる時間を位置付けたり、児童に自分自身の学習の達成状況を振り返らせる機会を設けたりします。
- ・定期的に児童の学習の定着状況を把握し（東京ベーシックドリル、標準学力調査）、その結果などをもとにカムバック教室（民託補習教室）、サンライズ教室、サマースクールを実施します。

③考える力、表現する力を高めます

- ・自ら課題を見つけ、調べてまとめ、発表する力を高めるために、学校図書館を活用した「調べる学習」を推進します。
- ・問題の解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組んだり、友達とかかわりながら考えを深めたり、自分の学びを振り返って次の学習に活かしていく機会を充実させます。

④これからの時代に必要な力の育成を進めます

- ・タブレット端末を効果的に利用するなどして、ICT機器の基本操作や発達段階に応じた情報リテラシー、情報モラルを育成します。
- ・英語力をつける学習として、1，2年生から「放課後英会話教室」を行い、3年生からの外国語活動へスムーズに繋がれるようにします。また、身近な英語の語句や表現に慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、児童に言語や文化についての理解を深めさせます。

⑤教育活動の改善・充実を進めます

- ・児童に必要な力を育むために、教科の枠を超えた学習の設定、外部人材の活用も含めた指導体制の充実、さまざまな教育資源の活用などを進めます。
- ・教育活動の計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させます。また、その内容の積極的な発信に努め、家庭や地域の率直な声を受け止めて、改善・充実を進めます。

(2) 自立し貢献する児童の育成（生活指導・特別活動）

①自らの体力を高めようとする態度・意欲の向上を図ります

- ・体力テストの結果をもとに自分の体力を把握させ、体力向上への意欲を高めます。
- ・朝の校庭を開放し、「毎日マラソン」を継続して行い、自ら体力を高めようとする態度を育てます。

②自ら進んで健康・安全な生活を送る力を高めます

- ・自分の身体や健康に関心を持ち、健康で安全な生活を実践していこうとする態度を育てるため、保健の授業や発育測定之机をを活かした保健指導の充実を進めます。

③食に関する関心を高めます

- ・食への関心を高めるため、給食に日本や世界の料理、季節に応じた食材を提供したり、マナーを学ぶ機会を設けたりします。

④主体性や自主性を育む取組を推進します

- ・係活動や当番活動、委員会活動などの充実を進めます。
- ・児童の主体性や自主性を育むため、異年齢交流活動「なかよし班活動」を計画的に実施します。

⑤自分のことも相手のことも大切にすゝる気持ちを育みます。

- ・特別の教科 道徳を中心に、道徳授業地区公開講座などを通して保護者や地域の協力を得ながら、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。また、年間を通して「考え、議論する道徳」への授業改善を図ります

⑥豊かな情操を高めます

- ・展覧会に向けた取組を通して、友達と協力して創り上げていくことの喜びを実感させます。
- ・週2回の読書活動をきっかけに、子供たちが本に親しむ時間を十分確保するとともに、探求的な学びを追求していきます。

⑦基本的な生活習慣を育てます

- ・「鹿骨小の一日」に基づき、基本的な生活習慣の確立をめざします。
- ・生活指導における「き・あ・い」の指導を徹底し、聴く・あいさつ・いいところ見つけの指導を充実する取組の推進や清掃や給食指導などの徹底を進めます。

⑧健全育成を推進します

- ・いじめの防止を徹底するため、ハイパーQUTテスト（楽しい学校生活を送るためのアンケート）や児童へのアンケート調査による実態の把握、友達のよさを見つけ認める取組の充実などを推進します。
- ・情報通信機器によるトラブルの未然防止を推進します。
- ・不登校、不適応などの問題行動や児童虐待の未然防止、適切・迅速な対応の徹底を図るために、教職員間での定期的な情報共有や対応を推進します。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係諸機関などとの連携を積極的に図ります。

⑨体験活動を推進します

- ・5年生のウインタースクール、6年生の日光移動教室、地域や外部指導者による出前授業等を実施し、自然や文化、伝統などに触れる体験を行います。

⑩自分の身体、命を自分で守る力を高めます

- ・さまざまな自然災害を想定した多様な避難訓練、薬物乱用防止教室、セーフティ教室、情報モラルにかかわる指導、不審者対応訓練などを進めます。
- ・登下校の安全確保、自転車の乗り方をはじめ交通安全にかかわる指導を進めます。

⑪学校の環境の整備・充実に努めます

- ・児童、教職員、用務が連携し、清掃の徹底、校内美化の推進を図ります。
- ・自然環境を整備し、教育活動への活用を進めます。

⑫事故防止を徹底します

- ・施設・設備及び教育活動にかかわる安全管理を徹底します。
- ・校外学習、宿泊体験学習などでの安全確保を徹底します。
- ・食物アレルギーにかかわる事故防止を徹底します。
- ・事故発生時の迅速・的確な対応を図るための準備などを進めます。

(3) 組織人として共通実践し、指導責任を果たす教職員を育成(学校運営)

①学校への理解を深めていただくよう努めます

- ・教育活動の実際や児童の様子、学校の方針や取組などを、ホームページ、学校公開、学校だよりなどにより、積極的に情報発信していきます。

②家庭や地域の方々との連携を推進します

- ・児童が自ら地域を支える人材として育っていくよう、PTA、学校応援団、地域の皆様などのお力をいただきながら教育活動を進めます。
- ・「江戸川・鹿骨」への愛着を高めるため、花きの栽培など地域の文化や伝統を学ぶ活動を進めます。
- ・多彩なゲストティチャーを招き、「本物」を学ぶ機会を充実します。

③「鹿骨小教職員スタンダード」に基づく指導を全教職員で徹底します

④保護者や地域の方々の声を受け止め、学校の改善を進めます

- ・学校の改善・充実を進めるため、さまざまなアンケートなどを通して、児童、保護者、地域の方々の率直な声を受け止めていきます。

⑤「働き方改革」を推進します

- ・教職員の在校等時間「週60時間」以内を目標に、業務の効率化を推進します。
- ・教職員の事務負担の軽減を図り、授業や指導により専念できるよう、スクールサポートスタッフや副校長補佐の活用を進めます。